



持続可能な社会の交通文化



リンザ・ウェルズ

エグゼクティブ・ディレクター



MDS Consultancy Group (の一部である) **MDS交通プランナー**およびコンサルタント



The 9th GIFTS Symposium
Tokyo, Japan 1 December 2023 第9回
IATSS国際フォーラム (GIFTS)



経歴

- リバプール大学で学士号（**優等学位**）を取得し、ロンドン大学で修士号（経済学）を取得。
- 物流運輸研究所の公認会員・郵送計画分野にて最優秀学生賞受賞
- 2004年、ウェルズ氏は日本の鈴鹿で開催されたIATSSフォーラム  の出席者に選出、現在は同窓会メンバー 
- 現在MDS Consultancy Groupの一部である、MDS交通プランナーおよびコンサルタントのエグゼクティブディレクター
- 港湾、**船・出荷**、フェリー、クルーズ、公共交通機関、ハイウェイ、交通、鉄道分野における基本計画、事業計画、およびフィジビリティ・スタディなどの交通関連プロジェクトに従事。



持続可能な社会の交通文化

現在実際に**KPI**としてリスト化されていないが文化的観点から持続可能な交通機関のための主たる指標ーシェアードモビリティや人力による移動手段の受け入れと使用

1



2



3



4

歩行者の安全

歩行者の負傷者および死亡者の数によって測定される。歩行者の安全に価値を置く文化では、人は歩き、自転車に乗り、または公共交通機関を利用し、運転手も歩行者に思いやりがある傾向にある。

公共交通機関の利用

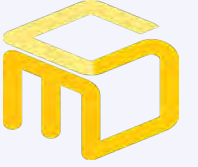
通勤・通学に公共交通機関を利用する者の割合によって測定される。公共交通機関に価値を置く文化では、公共交通機関は便利で良心的な値段で利用できるオプション手段として考えられている。

シェアードモビリティ

自転車、スクーター、車などをシェアリングして利用している者の数によって測定される。
シェアードモビリティに価値を置く文化では、マイカーを所有するよりも上記の代替手段を選ぶ傾向にある。

進化型交通手段

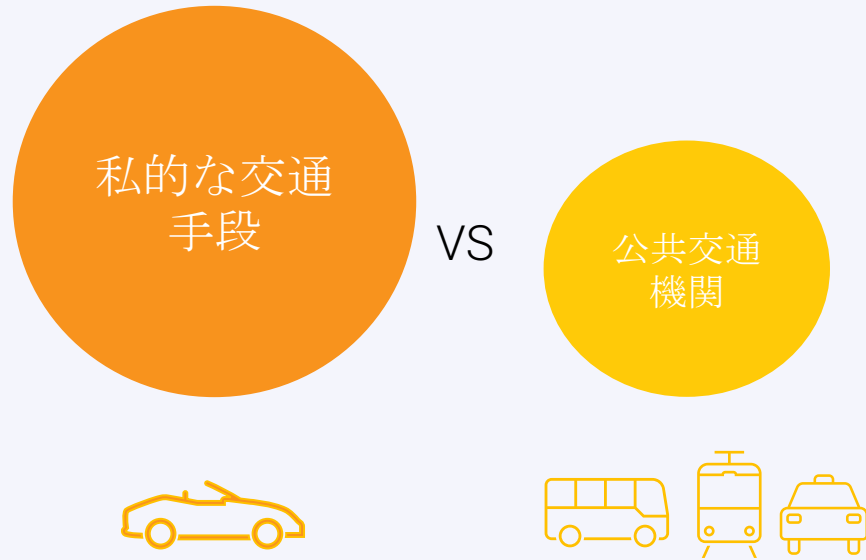
新しい交通手段はポジティブな手段である。電気自動車、シニアカー、パーソナルモビリティビークル、また将来のピープルムーバーなどがこれに該当する。



現在のシナリオ対理想的な将来のシナリオ

現在

望ましい未来





ステータス・シンボルとしての車の所有

車文化

文化により、シェアード・モビリティや人力による移動手段の受け入れと使用へ影響を及ぼす可能性がある。





気温による影響

交通手段の選択に影響を与える気象条件

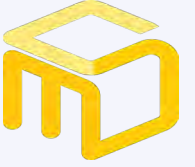
駐車スペースを確保するにあたり、木々を伐採する必要が出てくる。木々が無ければ、気温は上昇し、サイクリングや徒歩で移動する者にとってはある一定の距離を超えると不快感を感じてしまうだろう。

環境と人々の健康やウェルビーイングの両面から、環境に優しい交通機関の利益について啓蒙する。

これにより、環境への影響の低減や住みやすいコミュニティの創造を促す。

現行のポリシーや計画では上記のような要素が考慮されていない。道路や車の駐車場を作るため緑空間が減らされている。





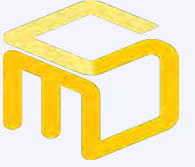
都市空間使用の変容

排出ガスをより少なくし、空気の質を改善するために、交通渋滞を軽減し、都市計画の重要性を考慮する必要がある。

以前は存在しなかった緑地が存在すれば、人はそれを利用する。緑地により、身体的活動や社会的交流が促進され、住みやすいコミュニティが創造される。

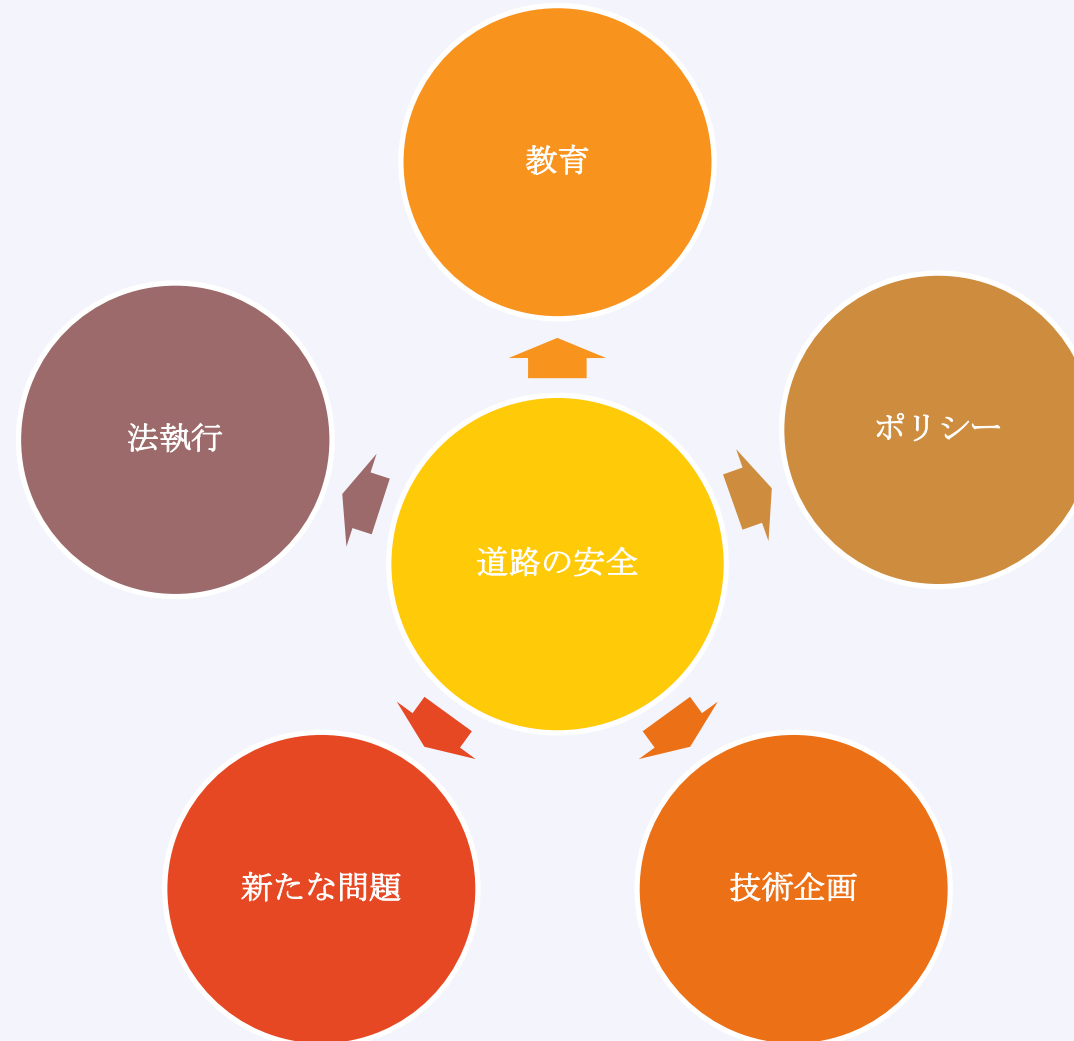
徒歩や自転車用のインフラストラクチャーが無い文化も存在する。このような文化では、徒歩や自転車による交通移動は危険であり、不便である。

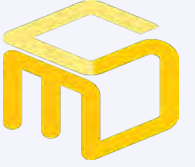




道路の安全のための五つの要素

政府は総じて以下の要素に取り組む必要がある。





交通安全KPIの効果改善

モビリティに関与する組織全部が負うべき特定責務

教育

- 学校のカリキュラムにより、子供達は正しい安全文化を育てる計画プロセスを体験する。

ポリシー&
法執行

- 利用者間で正しい慣習と行動を生み出し、それらを定着させるため国際基準を順守するポリシーが必要となる。

技術企画

- あらゆる開発に関する都市計画および設計を管理する規程において、安全規則とグリーン・アジェンダを実施する。

新しい問題

- 新しい交通安全問題：電気自動車、水素燃料車両、パーソナルモビリティヴィークル。



道路の安全教育

文化的に厳しい環境下において道路利用者のために安全な文化を育てる努力

学校におけるMIFA主導のイニシアチブ：交通安全文化プログラムの実践。

道路の安全プログラムによる道路安全文化の浸透



'A child a day dies from road accidents'

By Bernama - September 13, 2023 @ 9:19pm



© Ping'an Jinhua/WeChat

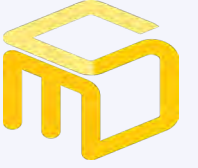


交通および道路の安全への挑戦

- 電動キックボードで日々自分の子どもを学校に送迎する男性
- 一台のモーターバイクに乗る家族達
- 電動スクーター乗車規程



Penang scooter riding rules				
Device Type	Bicycle	Power-assisted Bicycle (PAB) or ebike	Motorised personal Mobility device (PMD) e.g scooter	Motorised personal Mobility Aid (PMA) e.g ewheelchair
Path road	✓	✓	✓	✓
Dedicated Bicycle Lane	✓	✓	✗	✗
Footpath	✓	✓	✗	✗
Roads	✓	✓	✗	✗
Back lane/side lane	✓	✓	✓	✓



ポリシー

拙策は道路の安全に関する認識不足の文化や法執行の欠如から生じるのか？

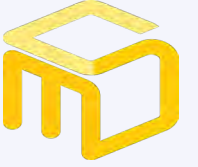




法執行

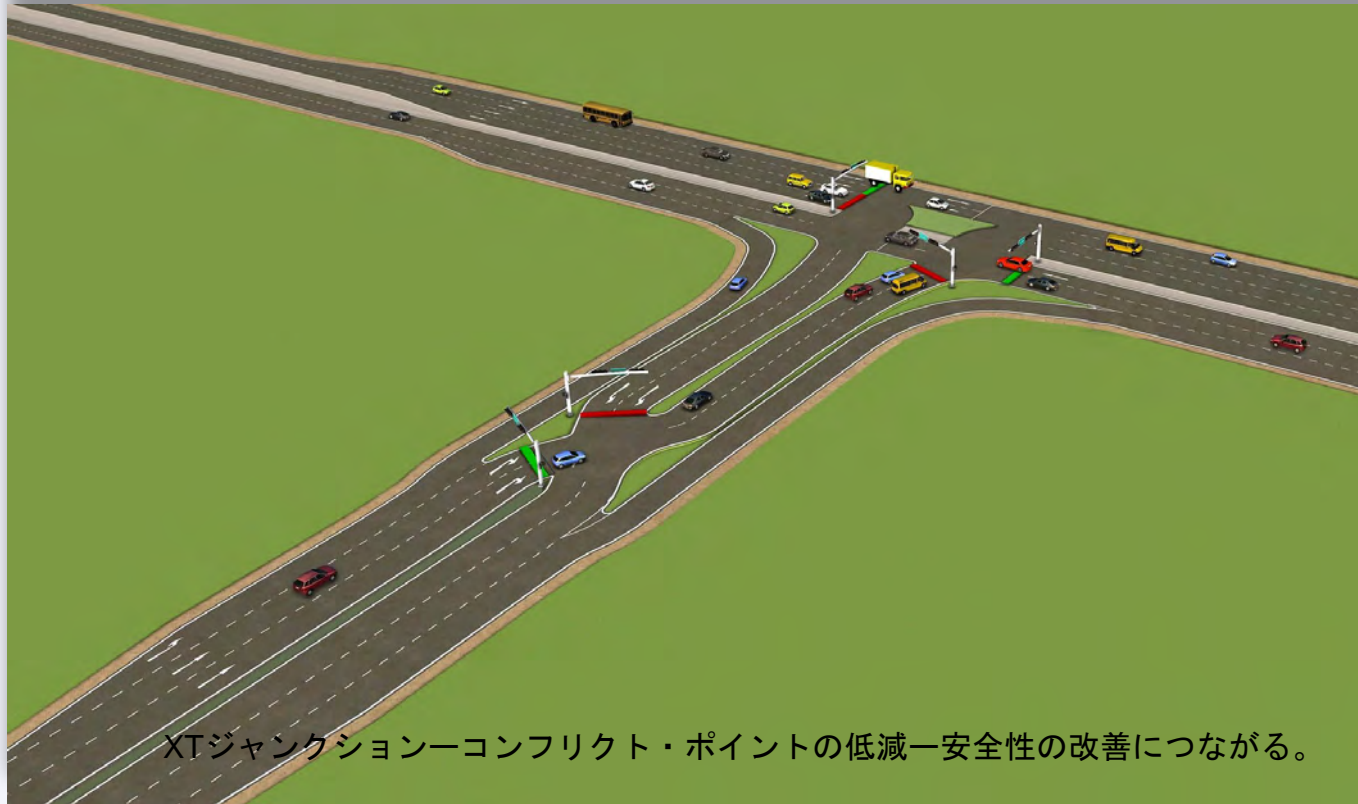
法執行における様々な問題：ハイウェイでスタント行為を行うオートバイ運転者、オーバーロード状態のバスや大型トラック（経済的な必要性対安全性）





技術企画

混合交通、消えかかった道路標示、でこぼこ道や道にできた穴



新しい問題の出現と道路の安全の問題



計画において考慮すべき重要ポイント



ながら歩き



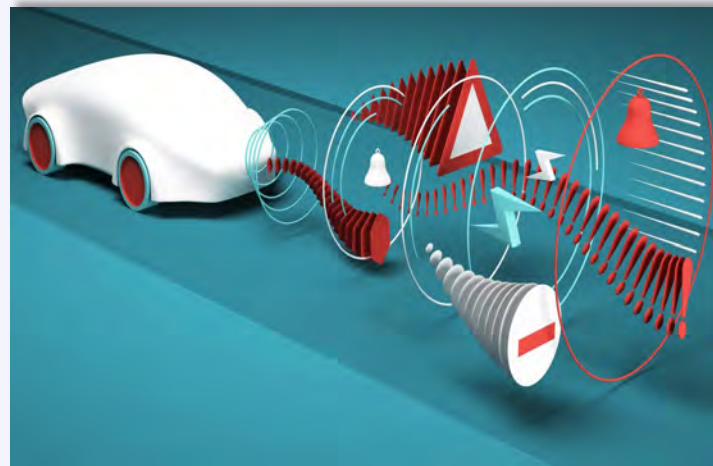
パーソナルモビリティデバイス



オートノマス・ビークル



ながら運転

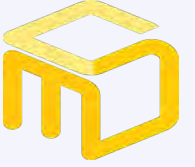


サイレント・エレクト



垂直離着陸機

今後の措置



現時点では行われていない以下の措置を取ることで持続可能な交通機関が標準化できる。

- 教育および啓発キャンペーン、シェアード・モビリティや人力による移動手段をよりアクセス可能・至便とする措置。
- 環境と人々の健康やウェルビーイングの両面から、環境に優しい交通機関の利益を啓蒙する措置。
- シェアード・モビリティや人力による移動手段をよりアクセス可能・至便にする措置（これには現在より自動車レーンや歩道を増やすことや、公共交通インフラストラクチャーを改善し、リーズナブルな運賃やパスを提供することも含まれる）。
- 持続可能な交通機関を支援する社会規範を促進（これは、国民意識を高めるキャンペーン、ソーシャルメディア、地域の祭りや行事を通して実現可能）。
- 持続可能な交通機関を促進する文化的リーダーやインフルエンサーとの協働（これには宗教指導者、地域社会の長老達、有名人も含む）。
- 現時点では行われていない上記の措置を取ることで持続可能な交通機関を標準化できる。ファースト/ラストマイル接続に焦点を充て、公共交通手段の使用を促す。
- 業界は早いペースで動いている。政府規制当局や政府関連機関もこれに後れを取らないことが重要である。



先進国とは、マイカーを所有・運転する貧困層の割合ではなく、公共交通機関を利用する富裕層の割合で定義される。

ご清聴ありがとうございました